

# 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会

## 第4回合同会議 会議録

日時	平成24年11月26日（月） 午後8時20分から午後10時まで
会場	丸山公民館 2階大会議室
出席委員	丸山地区22名 和田地区22名
欠席	岡田委員、船宝委員
傍聴人	9名

### 1. 開会

### 2. 検討委員長挨拶

(和田地区委員長)

皆様の御協力を得まして、4地区の地区説明会が無事終わることができました。本当にお疲れ様でございました。本日は地区説明会の報告等がございますので、よろしく御審議のほどをお願いします。

### 3. 教育長挨拶

4地区の地区説明会では御協力いただきありがとうございます。今日はいつもと違っていて、この会議の1時間前から会議ということで、変則的でお疲れのところもあるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

### 4. 報告等

事務局 次第の4の報告等として、前回の第3回検討委員会の内容について報告させていただき、その後に配付資料の確認をさせていただきます。第3回の学校再編検討委員会を平成24年10月22日に行い、この時の出席委員は、丸山地区22名と和田地区22名となっております。議題の第1号として「各専門部会部会員の選任について」、各団体等から専門部会委員として御推薦いただいた123名の方々について、御承認いただきました。

次に議題の第2号として「地区説明会の開催について」、事務局から説明させていただきました。まず、地区説明会については、丸山地区と和田地区を対象にチラシを全戸配付し周知を図ること。地区説明会は、検討委員会が主催となり、検討委員会で協議・検討した内容を地域の方々に報告し、質疑や意見交換をすることを目的に行い、当日の流れや配付資料及び報告書の案について確認をさせていただきました。ここで委員さんから「地元以外の地区説明会に出席することについて」の御質問と「地区説明会の周知方法について」の御意見をいただいております。

ます。これらについては、いろいろな考え方があり協議していただきましたが、結論的には他地区の説明会については、委員長と副委員長には出来るだけ出席していただくようお願いし、その他の委員については自由参加ということとなりました。また、周知方法については、チラシを全戸配付しておりますので、その他の周知については、各委員さんからそれぞれの団体等にお話ししていただき、特に強制して動員を求めることはしないこととなりました。

報告は以上となりますが、委員の皆様には前回の会議録を事前に送付させていただいておりますので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに会議録を掲載したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

続いて、事前配付した資料の訂正として、本日の会議次第の5. 議事(3)「今後の学校再編検討委員会の今後の予定について」と添付資料「今後の学校再編検討委員会の今後の予定」、両方に「今後の」が重複しており、最初の「今後の」の削除をお願いした。また、本日配付の資料として「地区説明会報告書」、「富山地区学校再編に係る意見具申」の配付確認。

質疑等特になし。

事務局 次に先ほど開催しました、専門部会ごとの部会長・副部会長の発表をお願いします。始めに、校名部会よりお願いします。

委員 校名部会は、部会長は和田地区の学識経験者の小宮忠です。副部会長は丸山地区の学識経験者の御子神玲子さんです。

委員 通学支援部会は、部会長は和田中PTAの吉田香織です。副部会長は丸幼小PTAの金井大輔さんです。

委員 校歌・校章部会は、部会長は丸山中PTAの結縄英樹です。副部会長は南幼小PTAの工藤美智代さんです。

委員 学用品部会は、部会長は和田幼小PTA平野美和です。副部会長は南幼小PTAの山田規史さんです。

事務局 事務局より代わりに発表します。行事部会は、部会長は丸山中の関口明快さんです。カリキュラム部会は、部会長は丸山中の鈴木康代さんです。それぞれ副部会長は決まっておりません。理由は二つの区分けですと、具体的な話し合いが進みづらいというところがありまして部会を四つに分けました。それぞれに長と副を決めた関係で大きな枠の中ではまだ部会長しか決まっていません。よろしくお願ひします。

委員 PTA部会は、部会長は丸山中PTA山田一洋です。副部会長は和田中PTA野村利弘さんです。

事務局 ありがとうございます。今後は、専門部会ごとに協議、検討を進めていただきたいと存じます。報告は以上であります。

## 5. 議事

事務局 これより議事に入ります。今回は、和田地区委員長に議長をお願いします。  
議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか」

議長 許可します。

(傍聴人入場)

本日の出席委員数は、和田地区22人、丸山地区22人です。両地区ともそれぞれ過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。議題第1号「地区説明会報告について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。

事務局 議題第1号「地区説明会報告について」を説明させていただきます。開催日の順に主な御質問や御意見について、概要を説明させていただきますので、詳細につきましても、後ほど本日配付させていただきました各地区の地区説明会報告書を御覧いただきたいと思っております。

最初に南三原小学校区の地区説明会ですが、11月1日、午後7時から午後8時半まで行い、一般の参加人数は71名となっております。まず、幼稚園・小学校についての御質問や御意見は、大きく分けると三つあります。一つ目は、「4校を1校にすることについて、保護者の方々の了解を得ているのか。」、また「各学校でアンケートを取っているのか。」との御質問があり、検討委員さんから「委員会の中では了承していること。」や、また「アンケート調査を行い、保護者の方々の意見を集約していること。」の説明をしております。その質問をされた方の意見として、「和田地区は反対が多く、和田地区の2校で再編を進めていけたらというのが4校で再編ということになっているので、保護者の方たちの意見を踏まえた上で検討して欲しい。」との御意見がありました。二つ目は、「統合小学校の新築場所について、噂で沼地区の方に検討していると聞いたが、高圧電線が通っているので、十分配慮して検討して欲しい。」との御意見がありました。三つ目は、「保育園と幼稚園は一緒になるということで進んでいくのか。」との御質問があり、事務局からは「丸山・和田地区で保育所・幼稚園・小学校が一体となった施設をこれから確保していく予定であること。」を説明させていただきました。次に中学校についての御質問や御意見ですが、こちらも大きく分けると三つあります。一つ目は、「平成26年度に統合とのことですが、部活動について、学校の統合前から部活動を統合して大会等に出るような話は出ていますか。」との御質問がありました。これにつきましては、事務局と検討委員さんから「平成25年度からの両校の部活動について、現在、両中学校で検討中であること、またスクールバスによる支援についても検討していくこと。」の説明をさせていただきました。二つ目は、「五十歳の方までスクールバスが来る予定はありますか。」との御質問があり、事務局から「今後、専門部会の中で検討していくこと。」の説明をさせていただいております。三つ目は、「和田中学校の校舎やグラウンドの利活用について」御質問があり、事務局からは「中学校全体

について、今後、利活用を検討していくこと。」の説明をさせていただきました。

続いて丸小学区ですが、11月5日、午後7時から午後8時まで行い、一般の参加人数は35名となっております。まず、幼稚園・小学校についての御質問や御意見は、大きく分けると三つあります。一つ目は、「統合小学校の新築場所について、南三原小学校区では海拔の面で安心できないとか、なぜ南三原小学校区に決まったのか。」との御意見や御質問があり、事務局から15m以上の場所に建てることや、その理由について説明をいたしました。二つ目は、「スクールバスによる通学距離と時間について、経路によっては通学距離が長くなるのではないか。」との御質問がありました。事務局からは、具体的な学校の位置が決まってから専門部会により運行経路などについて検討していくこととなりますが、基本的には幹線道路まで子供たちに出て来てもらうこと。」などの説明をさせていただきました。三つ目は、小中一貫についての御質問があり、丸山・和田地区については、同じ敷地での併設型ではなく、学校が離れていても基本的な考え方でやっていくような分離型の小中一貫を目指していくこと。」の説明をしております。次に中学校についての御意見ですが、「存続する部活動について具体的に教えて欲しい。」とか、「平成25年度から合同チームが組めるようにして欲しい。」との御意見がありました。事務局と検討委員さんから「存続する部活動については、現在両中学校で検討中であり、またスクールバスでの送迎などについても検討していく。」ことの説明をしております。

続いて、和田小学校区ですが、11月13日、午後7時から午後8時頃まで行い、一般の参加人数は42名となっております。まず、幼稚園・小学校についての御質問や御意見が、大きく分けると五つあります。一つ目は、統合小学校の新築場所について、複数の方から「海拔15mではなく、もっと高い場所に建設して欲しい。」という御意見です。これにつきましては、事務局から海拔15m以上とした考え方について説明させていただきましたが、納得を得るまでには至りませんでした。二つ目は、「国道を通過しての送迎では、災害時には通れないので、災害時でも通れるような道路を整備して欲しい。」との御意見がありました。事務局からは「災害時については、すぐに保護者に迎えに来てもらうのではなく、保護者を含め家庭での安全が確認できるまで学校で子供たちを預かること。」などについて説明しております。三つ目は、統合後の小学校の教員配置について御質問があり、事務局から「これまで統合時には、教職員が多く配置されており、これまでの統合でも両校の先生を合わせた形で新しい学校をスタートしているので、同様になると思っています。」という説明をしております。四つ目は、「和田小学校跡地の利活用について」御質問があり、事務局から「統合が決まった段階で検討していくこと。」の説明をしております。五つ目は、「和田小学校の耐震性について、統合するまでの間、大丈夫か。」との御質問がありました。これにつきましては、耐震診断を行った結果、

文部科学省が示す基準値以下であります。極めて満点に近い数値となっているため、地震が来て直ぐに倒壊する恐れがあるというものではない。」ことの説明をしております。次に中学校についての御質問ですが、「子供の心のケアについて」御質問がありました。事務局から「現在でも各学校に週1日スクールカウンセラーが配置されており、今後も継続されること。」の説明をさせていただいております。

続いて、南小学校区ですが、11月16日、午後7時から午後10時まで行い、一般の参加人数は52名となっております。幼稚園・小学校についての御質問や御意見が、大きく分けると二つあります。一つ目は、統合小学校の新築場所について、「海拔15mの位置では安心できないので、より安全な丸山中の隣、海拔30mの所に建てて欲しい。子供たちの安全安心を一番に考えて欲しい。」との御意見がありました。この統合小学校の新築場所については、複数の方から同じ様な意見が出されており、「4月の説明会と9月のアンケートだけでは、保護者の意見が集約されたとは言えない。もっと保護者の意見を聞いた方が良い。」という意見や、「検討委員会で合意したとあるが、和田地区と丸山地区の保護者が集まって一緒に話し合う機会があった方が良い。」などの意見がありました。事務局や検討委員さんから「南三原小学校区内の海拔15m以上とした理由や、また保護者の意見集約については、これまで各PTAにおいて、アンケートなどにより意見が集約されているものと考えていること。」の説明をしております。また、その他には「統合小学校の建設場所については、反対意見が多い様な気がしますが、地区説明会で理解を得たかどうかは、どう確認するのか。」との御質問があり、事務局から「多数決とかで決めるのではなく、今後、地区説明会での御意見などを踏まえ、検討委員会で最終的な議論がなされ、検討委員会としての結論が出されること。」の説明をしております。二つ目は、給食センターについてですが、「統合小学校が南三原小学校区となった場合に、給食センターの設置は考えているのか。」との御質問があり、事務局から「現在の丸山学校給食センターの供給能力を高め、対応する考えであり、新たに給食センターを建設する予定はないこと。」を説明しております。次に、中学校についてですが、部活動について「統合するまでの1年間、部活動だけ和田中と一緒にやれないでしょうか、男子については選択肢が少ないため、両校の現在ある部活動を存続して欲しい、また統合後の転部についても柔軟に対応して欲しい。」という御意見がありました。これにつきましては、事務局と検討委員さんから「既に両中学校で検討していることや、スクールバスによる送迎等も検討すること。」の説明をしております。次に、全体的なことについてですが、大きく分けると二つあります。一つ目は、検討委員会の検討状況の公表の仕方についてですが、「検討委員会の検討内容を文書で報告して欲しい。」とか、「ホームページで公表している検討委員会の会議録の量が多過ぎるので、要約したものとならないのか。」、また「音声や動画での配信はできないのか。」などの御意見がありました。これにつきまして

ては、事務局から「検討状況の報告については、地区説明会でお配りしている検討委員会報告や市のホームページで公開していること。」、また「要約版については、会議録を要約すること自体が信憑性を問われる可能性があること。」、「音声や動画の配信については、いろいろな理由から考えていないこと。」の説明をしております。二つ目は、「地域の教育活動や社会活動が停滞しないよう、良く考えたうえで統合して欲しい。」とのことで、「廃校となった小学校を学童保育のような施設としたらどうか。」とか、「現在、各学校区で行っている行事が廃れないようにして欲しい。」などの御意見がありました。以上で地区説明会の報告を終わりますが、全体的にみて小学校・中学校ともに統合自体は御理解いただけた様に感じますが、統合小学校の新築場所について、海拔15m程度では安心できないため、もっと安全な場所に建てて欲しいという意見が多かったこと、また中学校については、部活動についての御質問が多くありました。いずれにしても、各地区説明会ででのやり取りを踏まえ、今後の検討をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

議長 　ただ今、第1号「地区説明会報告について」、事務局より説明がありました。何か質疑ございますか。

委員 　おおむね了解してもらったという報告ですが、私からすると丸山地区においては丸小学校区は仕方ないという意見もありましたが、南小学校区は反対の意見が多かった。どういうふうに了解とするのか、了解の考え方についてお聞きしたい。

事務局 　私が報告しました、おおむね了解というのは、統合すること自体についてはおおむね了解、理解を得られた。中学校については賛成意見が多く上がっていますし、小学校についても4校が1校になることでは特に反対意見はなかった。ただ、小学校の建設場所についての反対意見は確かに多かったということをお知らせいたしました。

委員 　私が聞いた南小の意見では、学校を一つにすることはどうかという反対の意見が多かったような。それで了解とするのか。今度、検討委員会の報告ということで、全て検討委員会の責任に関わってくるような感じがして、非常に不安なんです。説明会を聞いた中で本当に過半数が賛成と皆さんが感じたのか。

教育長 　部活動等の質問がありました。それについては、統合を前提にして意見されているわけです。それと、小学校についても、「より安心できる所」という表現をされていたと思います。4校の小学校統合を前提として、建設場所はより安心できる場所ということで。統合そのものについて反対しているわけではなく、建設場所については「海拔15mよりも高い所で、より安心できる所」ということで「より」という言葉が入って、御意見をいただいた。統合そのものについて反対しているとは取れないのではないかと思います。もう一つは会議録とか会議の進め方、意見集約の仕方、そういったことの手続きについて多くの意見が出たと思います

が、それは統合そのものについての反対ということではなくて、手続きについて御意見をいただいたということで、それは別物だと考えていまして、全体的には担当が言いましたが、統合そのものについては賛成という立場で御意見をいただいたというふうに私どもは受け止めましたけど、皆様方は当日、参加されていたので、御意見いただければと存じます。

議長 　　他の委員さんから御意見ございますか。

委員 　　今のことで言うと、4校が一つになることについて、いかがなのかという意見が南小にありました。「そんなに大きくしなくても良いんじゃないか、むしろ小さい方が子供に目が届いて、いじめも出来にくいんじゃないか。」という話でした。それについて、教育長さんがいろいろ説明されていました。その方はその説明に納得をしたわけでもなかったけれども、心配されている内容に対しては十分答えていると私は思いました。例えば、「いじめが起きにくいとか起きやすいとか、そういう問題は人数が多いから起きるというものではない。」とか。それ以外に、地域に学校がないということが出てきて、「地域と学校の今までのつながりとかいろんなものが薄くなっていくのではないか。」という意見もありました。これは検討委員会でも大変多く出た意見です。そうは言っても、現状では解決できないということも納得できたわけです。教育長さんの説明にもありましたが、これから、その新しい学校を中心に新しい地域のつながりをつくっていく前向きな進め方をしていかななくてはいけない。時代が変わってきているのに、後ろばかり見ていて先には進めない。そういうことで私は理解しました。それと、統合そのものは良いけれども、一番の関心事は場所なんですね。私たちの検討委員会ではいろいろな意見が出て、最終的には、誤解を生むのであまり言いたくありませんが、中学校が丸山にあれば、旧和田町に小学校の施設がある方が、条件が許せば、それが良いのではないかと私は思いましたが、皆さんも大体そういう考えで合意されたと思います。問題ははっきり場所が分かっていないので、具体的な場所が分かった時にいろいろな意見が出てくるのではないかと地区説明会に出て思いました。話が進んでいくとまた返ることがこれから起こるかなと、もうこれで決まりということにはいかないと思いました。例えば、和田地区の方も丸山地区の方も言っていました。丸山に学校が一つ、和田に学校が一つとの考えで、場所については南三原地区だからそれで良しとするのか、あそこだったら、もう少し丸山寄りが良いとするのか。そういう意見が果してあるのかをもう少し時間をかけて聞いても良いかなと思いました。どういうやり方が良いかは分かりませんが、そういう方向は持っても良いかなと思いました。南小の保護者の意見の中に、「和田の方たちと話す機会があって、その方たちが南三原小学校区でなくても、もっと安全な場所があれば、そちらの方が良いということを話していますよ。」というような意見もありました。私たちが丸山と和田のバランスを考える前にそういう考え

もしなくてはいけないのかなと思ったんですよ。そういうものを含めて、中学校については進めていかななくてはいけないけれど、小学校についてはもう少し時間をかけることが必要ではないかなと思いました。

議長 他に御意見ございますか。

委員 今のお話を伺いますと、南三原小学校区に小学校というのが、最終的に変わる場合もあるというわけですか。

委員 私が決めるわけではないですから。

委員 私たちは南三原小学校区ということで、この会議に臨んでいるのに、しまいになったらわかりませんって、そんなことでは話は進まないじゃないですか。

委員 地区説明会の目的は何なのかということで、検討委員会で合意が得られたから、それで全て決まりというのではなくて、地区説明会で出た意見について、我々も意見交換をやらなければならない。でないと、地区説明会の意味がないのではないかなとそういう意味で私はお話ししているんです。

委員 結局、市の方向性というものが示されて、我々もいろんな意見があったけれど、子供の数は少ないし、社会生活というものを勉強させるためにも、ある程度の大きいのが必要だからと話が進んできているのに、中学校は別にして、小学校については将来変わる可能性もあるみたいな話をされたのでは、今まで何のために話しをして、今も話しに来ているのか分からないじゃないですか。方向性は最後まで押し通してもらわないと、何のために我々集まって来ているのか分からないですよ。

委員 これで決まりということではなく、また方向性が全て駄目だと言っているわけではないです。方向性は4校統合ということで決まっています。問題は場所についてのことだと私はお話ししている。

委員 地図を以前に配りましたが、心配されることはないと思います。海拔15mでも不安だから、そういう意見が出てくるんでしょうけど、15m以上の場所もいっぱいあるから。

委員 15mの話が出ましたが、丸山地区での意見で「揺れる建物の上で小さな子どもが余震に耐えられるか。」という話がありました。確かにそうだと思います。地面にいても余震が相当怖いのに、建物の上に逃げて、小さい子どもがその揺れに耐えられるかと考えたら、とても心配になりました。

委員 それはどこでも地震の大きさによって、そういうことはあろうかと思います。

委員 ただ地面と建物では揺れが違うので、その揺れを我々は感じていませんので分かりませんが、そのことを言われた時にはその可能性もあるということと、先ほど、地区説明会で了解されたと事務局から説明がありましたが、私が参加した南小学校区は了解とは違うなと感じたんですが。

議長 他の委員さんはこの意見について何かありますか。

委員 今の委員の話は南小学校の説明会で統合を反対している人が多かったということですが、私の記憶では、ずいぶん長い間、議論をし合っていたので定かではないのですが、覚えていることが二点あって、一つは小規模の方が先生に子供を見てもらうには良いのではないかと出ましたが、それも、その後、統合することについて、それでも反対するということにはなかったですし、この報告書にもありますが、教育長さんが「いろんな意見が出ているけれども、この再編については反対ではないですね。」と言った時に反対の手は挙がらなかったと記憶しているので、私は細かなことについての意見は持っているようだけれども、この再編については賛成したのかなと思ったんですけれど。

教育長 4校統合についての意見が大きく二人出たかと思います。一人は複式であっても、現在の学校を残してもらいたいという意見が出ました。それについて私どもは、複式には非常に難点がありますので、それは取らないということで。その後、御意見をいただきませんので、それは御理解いただけたかなと。もう一人は、少ない方が目が届いて、いじめが少ないという話がありましたが、いじめは人数の多い少ないにかかわらず、起こる時は起こるということをお話ししました。その方は4校ではなくて2校でということもお話しいただいたんですが、私の説明では今の1歳児の丸小学校区と南小学校区を合わせた人数は19名という人数が出ているわけです。これから2050年まで日本全体の中学生以下の人口が半分以下になると推定が出ている中で、目に見えている段階で1学年19名、しかもこれが半分近くに、半分以下に減ってくる状況を考えると、丸小学校と南小学校を合わせて一つの学校をつくったとしても、5年後、10年後の時点では極めて小規模な学校になるというお話しはして、それについても御理解いただいたと私は判断しております。それ以外については、先ほどから申し上げておりますように、4校の統合そのものについての御意見はなかったように、今日、傍聴にもいらっしゃっていますが、より安心できる所という意見は多々いただいたと思いますが、統合そのものについては今申し上げたような二つの御意見をいただいて、それについて説明をして、御理解いただけたかなと私はっております。

議長 今の教育長の説明で何か御意見ございますか。私も4地区伺ってお話しを聞いて、南小が一番いろんな御意見が出ましたが、具体的に4校統合については反対だという強い意見は出なかったような気がします。子供のために安全な場所を確保してもらいたいというような結論だったのではないかと記憶していますが、何か御意見ございますか。では、地区説明会報告については地域の方々に御理解いただいて進めていこうということによろしいでしょうか。

委員 ちょっと待って下さい。これで、地区説明会で、理解が得られたということで進めていくわけですね。議長の結論ですと。

議長 いや、私のというより、皆さんの意見を伺って。

- 委員 地区説明会の中で理解が得られていない部分に対してはどう扱っていくのか。
- 議長 それは今後、建設場所が決まってから検討していくことではいかがでしょうか。この委員会自体でも合意の上で説明会を開いたのではないですか。
- 委員 それは良いんですけど。地区説明会をやって、いろんな声を聞いて検討委員会で検討しましょうということが地区説明会をやる意味です。地区説明会で「進めてください。」となれば、進んでも結構ですが、いろいろ意見があったので、それらの意見をどういうふう処理をして皆さんに伝えていくのか。それを出さないと、地区説明会で意見を言った人たちに「どうなったのか。」と言われるのではないかなと思うんですけど。
- 委員 それは、教育長さんが先ほどおっしゃったように、地区説明会の中で話しをされているのではないですか。だから、我々委員として意見があったら言って下さいと議長が言ったわけですよ。
- 委員 教育長さんの説明では地区説明会で御意見をいただいて、検討委員会でまた検討してということをしていましたよ。
- 委員 それに対して意見はどうですかと言った時に出なければ。
- 委員 ですから、私はそれを待ってくださいと。それで良いのかなと思ったんですよ。
- 委員 だから意見があればどんどん言えば良いんじゃないんですか。
- 委員 私はそういう意見で。それは必要ないじゃないと言われればそれまで。
- 委員 私も小学校の設置場所が決まったのなら、それに対する地区説明会を行えば良いと思います。
- 委員 まず、統合して4校を1校にしようとか、旧町村に1校ずつは残そうというのは基本的には親のエゴだと思うんですよ。地域のコミュニティがなくなるとか、そういうことで本当に子供が勉強する上で何が必要なのかということも抜きになっていると思うんですね。だから、私たちは親のエゴの代弁者ではないので、子供たちがどうしたら一番いいのか。これから丸山だけで、小学校が19名になってしまったら、本当に困ると思います。丸山はもともと人数が少ないところだったので、高校に行って、多い人数の所に行くので、皆、萎縮してしまうんです。今、丸山と和田が統合したところで大した人数ではないんだけど、それでも少し、荒波に揉まれながら育っていかないと。私たちが考えるのは子供たちが大人になった時のことです。学校のことは15mにすごくこだわるんだけど、自分の家は海拔10mも満たない所に建っているのはいっぱいありますよ。だけど、引っ越した方は誰もいないですよ。まず引っ越して、自分が安全な場所に移ってからというのなら分かるけど、教育委員会も15mで安全だと言っているわけですし、でも、本当は誰もわからないんだけど、少なくとも津波が来るのに2分、3分後というのはないですよ。南海トラフでも32分後と書いてあるけど。その対応は私は出来ると思います。東北の地震が教訓になっていると思うんです。

だから、私たちは統合するにあたって何を一番に考えなくてはいけないかということを考えて欲しいなと思います。

議長 他に何か御意見ございますか。それでは、先ほどの委員の御意見の中で、具体的にはどのように統合を進めていったらよろしいと思いますか。

委員 問題を一つに絞って、小学校4校を一つにすることは良いとして、建設場所に関して、丸山と和田にもいろいろと意見があるように感じるので、もう少し皆さんの意見をお聞きして、その上で理解を得たいという気持ちです。

委員 そのことは前々回の検討委員会であらかた結論が出て、丸山の方からすればやむを得ないかもしれませんが、統合の中学校は丸山中、小学校は南三原小学校区ということで意見集約できたとは思っているんですが、違うんですか。

教育長 南小学校の地区説明会で御意見を預かるような形で申し上げたのは、私どもの説明では、市としては、学校だけに限らず、公共施設は15m以上の所に建てれば安全だという考えに立っています。その会議の中で、より安心できる場所に建てて欲しいという意見が再三出たわけですし、それについては、その場で私どもが答えるということではなくて、再編検討委員会でまた協議していただきますという引き取り方をしてきましたので。丸山に中学校、和田に小学校にということではなくて、15m以上の所に小学校を建てると説明したわけですが、それよりもっと、より安心できる所に建てて欲しいという御意見に対して、この再編検討委員会でどのような結論を出すか、その辺のところを話し合っただけであれば、私もその会議で御意見を預かってきた立場ですのでありがたいと思います。

議長 今の教育長の御意見ですと、今後、小学校の建設場所が何か所か決まった中でより安全な場所を検討委員会で検討していくということではいかがでしょうかということですが、皆さんはこの御意見についていかがですか。

委員 市で防災マップを各家庭に配りましたが、例えば、南三原地区は15m以下しかないとなれば仕方ないですが、決してそういうことはない。もう一点、こうやっているうちに地震が来てしまうと私はいつも言っているんですよ。5年も6年もかかるのであれば、早く決めて学校を建てないと、思うだけではなくて、そういう方向性で進めないと地震が来てしまいます。

委員 南三原小学校の地区説明会に行けなくて、今、報告書を読みましたが、この中で「和田地区は統合に反対が多かった。」とあるが、それは皆さん納得しているということではよろしいですか。

議長 和田地区については最終的に御理解いただいております。

委員 この報告書の中に「4校を1校に再編という形で進んでいるけれども」ということで、いろいろ書かれてあって、引っ掛かるのですが。

議長 いろいろな意見がありましたが、和田地区については基本的には4校統合で南三原小学校区に小学校を丸山に中学校をということ賛成ということになってい

ます。これは意見があったことが書いてあるだけです。

委員 では、その意見はもう了解ということによろしいですか。

議長 私はそう理解しております。

委員 南三原小で4校統合に反対が出た時は、それで良いか悪いかは私が決めることではないけれど、将来的には少子化で子供が少なくなると、はっきり言って、それでは通用しないんだよね。

委員 それは分かるんですけど。この文書だと、和田地区全体が反対が多いととれるので、和田地区全体が反対が多いのであれば、まずいのではと思って、私は質問をしました。

委員 和田小の意見をお話ししますが、6月にアンケート取りまして、集計しました。実際、反対ではないけれども、どうしても和田小に愛着があって和田小に4校を持ってきてもらいたいという意見が何件かありました。最終的にその意見の保護者と直接お話しもしましたし、最後には教育委員会から提示されたデータを吟味しまして、子供たちが安全な所ということでもとまりました。和田の説明会で一番多く出た意見としては、耐震性と海拔の問題ということでありましたので、100%反対という意見は和田小では特にはないです。

委員 ただ、この報告書を読む中では反対が過半数以上ととれるので、それでどうなのかと思って質問したんですが。

委員 和田小のアンケートの集計割合でいきますと、だいたい85%以上が統合には合意しています。

委員 子供のこれからの教育。人数を多くして、安全安心の校舎、そういう場所で過ごしたいということ。

委員 そうですね。それが一番優先されていますね。

委員 はい、分かりました。

委員 今の南三原小学校での地区説明会の中で、この報告書にある方が確かに「和田地区は反対が多かったようで」と私も聞きました。私はこの人は何を根拠に話しているのだろうと思いましたが、その場で「あなたは何を根拠に言っているんですか。」と聞くことはしませんでした。このように文書として載っていると、確かに和田地区は反対が多かったかなと思ってしまう可能性があります。ただ、PTA会長さんが言ったようにアンケートは確実に進む方向でとられていますので、問題はないのではないかと思います。

委員 こういう文書だけだと、やはり考える人が出てくるのではないだろうか。和田で反対が出ているなら、うちも反対しようと言ってくるのではないだろうかと思って、確認をさせていただきました。やはり子供の安全安心が第一ですから、これからの子供が南房総市を旧丸山・和田町をどのようにたてていくかが、優先なのかなと思って。今から5年後、6年後を踏まえて話し合っ、学校の建て替

えの時期も来ていて、地震が来たらどうすると、急がなくてはいけないと思っ  
てはいますが、よく検討していかなくてはいけないことなので単純にどんどん決  
めていくというのは、難しいんですけれど。

議長 意見を集約させてもらいますと、今まで結論を出したことについて、前に進ん  
だ方が良いという御意見であったと思います。もう一度再検討した方が良いとい  
う御意見が他にございますか。

委員 この報告書は今、見たばかりで、私は丸山地区の2か所は出たのですが、和田  
地区の状況が読めていないので、やはり皆さんの意見として出されたものなので、  
委員としても、きちんと受け止めた方が良くと思うんですね。変える変えない  
は別としても。確認して直さなくてはいけないところは直して。もう少し時間を  
いただくことは出来ないでしょうか。

事務局 地区説明会の報告書は時間のない中で今日までに間に合わせる事が出来まし  
た。次回、これについて再検討するというのも一つの方法だと思います。それ  
については皆さん方で協議していただければと思いますのでよろしくお願いしま  
す。

議長 いろんな意見が出ましたので、小学校の再編についてはもう一度、皆さんで検  
討して、次回の会議の中で再検討するという事でよろしいですか。和田につい  
ては、皆さんが言っているとおり、南三原小については2回、和田小については  
1回、正式に皆さんの意見を聞いて、アンケートを取って、その上で2校の地区  
説明会の中で具体的に大反対という意見はありませんでしたので、和田地区につ  
いてはもうこの案で、まとまっていると私は思います。

委員 アンケートは各学校取られていると。

議長 和田地区については2校ともやりました。

委員 両方とも取られていると思うんだけど、そのアンケート結果というのはどうし  
て示さないんですか。

議長 和田地区については、アンケート結果は聞いて、皆さん合意しています。

委員 アンケートを取ったのなら、検討委員会に対して結果を報告しないのか。

教育長 それは、再編検討委員会としてアンケートを取ったのではなくて、それぞれの  
単位PTAで意見を集約するための資料として。いろんな説明会をやったでしょ  
うし、アンケートも取ったでしょうし、それはPTAの資料ですので、それを再  
編検討委員会の資料として提示するのは、ちょっと違うと思います。

委員 でも、その意見は重要な意見で。

教育長 ですから、それは役員さん方の責任で、それらを踏まえて、意見をまとめてい  
ただいていますので。

委員 丸小もアンケート的なものを取りましたが、反対ではなくて、場所がどこにな  
るのか。例えば、南三原駅の裏であれば、海拔15mが安全かどうかわかりませ

んが、海からの距離が近いということで不安です。だとしたら、丸山中の方が海拔も高いですし、海からの距離も遠いので、安全じゃないかと考える人が多いです。だから、場所が特定されていないので、何とも言えないというか。例えば、和田地区と丸山地区が少しかかっているとかでも良いのか。そうであれば、海からも離れていて、海拔も高いし、それなら良いかなと自分の意見としてはあります。

議長 このままやっていると結論は出ませんから、次回の会議で皆さんの御意見を集約するという事です。

委員 事務方で場所を決めるわけにはいかないんですか。場所は統合が決まってからと言っているけど、場所に不安があるようですから、決めるわけにはいかないんですか。

教育長 皆様から御意見をいただいて、4地区の説明会で100%の賛成でなくても、おおむねの賛成が得られたということになれば、私どもが今度は、当初の案ですと南三原小学校区で検討して、また再度、具体的な場所を提案するという事です。ですから、今はその前の段階で、4地区の会議の内容が出てきていて、委員の方から、この内容をもうちょっと大事にして議論した方が良いのではないかと、確認した方が良いのではないかと意見が出ましたので、今日は結論を出さないで。

委員 それは説明をして、大方まとまって、地区説明会をやったと思うんですよ。だから、和田地区の意見はまとまっている。これをまたやっても進歩がないのではないかなと。

教育長 ただ、地区説明会で了解をいただくということが前提になってきていますので、この地区説明会の内容を受けての協議が十分ではないのではないかとという意見があったことについては協議した方がよいのではないかとというのが私どもの立場です。地区説明会の報告書の内容について、十分議論しない内に再編検討委員会で決まったとなると、後々、説明が難しくなってくる段階が出てくるのではないかなと。段取りを踏んでいただいた方が。

委員 ちょっと確認してよろしいですか。要するに、具体的に、ここにはこういう良い点はあるけれど、こういう問題がありますよというのは、場所がはっきりしないと考えられないし、それ以上、意見も言えない。ただ、議員さんの了解を得ないで、具体的に地名を挙げて、ここだとすることも出来ない。仮に特定の名前を挙げないで、Aという場所はこういう場所というような、A案、B案、C案のように何点か示すことぐらいは出来ないでしょうか。

委員 なかなか問題をさらすと言っても、意見統一というのは、おそらく、まとまらない。だから、教育長さんがおっしゃった、大方まとまった時点でまとめないことには全部の意見を100%ってやったら、大変だ。

議長 では、今言ったように幼稚園小学校の統合については、地区説明会の内容を再

検討して次回に行う、中学校については問題なく進めてよろしいでしょうか。

全委員 はい。

議長 では次に、第2号「専門部会検討状況の協議について」を議題にしたいと思えます。専門部会で協議検討する案件がありましたら、お願いいたします。

委員 それでは、校名部会からですが、事務局から校名は統合するということで、前回の会議の中でもその話で進んでおりますので、募集要領の案をつくっていただき、それを校名部会で検討しました。今、配りました「統合中学校「校名」募集要領(案)」について、いくつか追加がありますので、含めてお話しをさせていただきます。目的はそこに書いてあるとおり、統合校にふさわしい学校名を募集します。募集期間は平成24年12月3日(月)から平成25年1月10日(木)必着、必着の宛先は学校か地域センターになります。応募資格は南幼小・丸幼小・丸山中・南三原幼小・和田幼小・和田中の児童、生徒、保護者、教職員。学校統合する前の丸山地区・和田地区の中学校の卒業生で学区外にお住まいの方も応募可能。それから、丸山地区・和田地区にお住まいの方。応募条件としては、校名は、学校の名称としてふさわしいもので、短い表現で親しみやすいもの。統合元となる「丸山」、「和田」は使用しないということ。「丸(まる)」とか「和(わ)」という字を使うことは否定しません。校名は、自作で未発表のものとし、漢字又はひらがなとしますので、英語やカタカナは取り上げないということです。応募方法ですが、統合中学校の校名、校名の趣旨やコンセプトを100字以内と応募者の住所氏名です。応募用紙の配付はホームページからダウンロードできるようになっていること、丸山・和田の両地域センター、教育委員会、各学校とあるのですが、わざわざ取りに行くのも大変なので、各家庭に一枚ずつ全戸配付していただきたいということです。それから提出についても、地域センターや学校等に届けるということも大変な方もいらっしゃると思いますので、区長さんをお願いして、各区でまとめてもらえるような、できるだけコンパクトに集められるような形で考えていきたいと思えます。

幸い、区長会が丸山地区は12月5日、和田地区は12月7日にあるそうですので、それぞれの区長会で依頼をしていただきたいと思います。当然、インターネットの応募ということもあるかと思います。郵送する場合には郵送先は教育委員会学校再編推進課になります。校名の決定方法ですが、校名部会で検討して、候補となったものを学校再編検討委員会で協議選定していただき、案が出来て、それを教育委員会に持ち帰っていただき、教育委員会で決定後、市議会の議決を経て正式にという形になります。ですので、状況によっては、校名部会が三つの案を持ってくるとか、あるいは順番をつけて持ってくるとか、というようなことが起こるかもしれません。そこは上がってきた状況で相談しようと考えています。なお、応募数の多い名称を校名案として決定するものではありませんということ

で、これは校名部会のメンバーも了承しました。学校名の著作権は教育委員会に帰属します。新しい学校名の発表は広報紙及びホームページで周知するという  
ことで、出来るだけ各家庭に伝わるようにしたいと思います。それから、採用され  
たものに対して、何らかの記念品を出すとか、そういうことはありませんかとい  
う意見もありました。そういう意見も良いでしょうが、とにかく周知しましょ  
うという意見で話が落ち着いています。1回の会議ですので、全て決定というわけ  
にはいきませんが、なにしろ12月3日ということで、スタートが近いので、この  
案に私が言ったことを付け加えて、進めていただければと思います。よろしくお  
願いします。あと、一人一点とするという枠があります。

議長 ありがとうございます。ただ今、校名部会から校名募集に関する説明がござ  
いました。何か質疑ございますか

委員 今までの中で広い意見を聞くということで、応募資格はなくしてもいいのでは  
ないですか。我々が思いつかないような素晴らしい名前が出てくるかもしれない。  
この地域に限った応募というのは何で必要なのか。

事務局 どれだけ出てくるか分からないので、選ぶ側が厳しいのではないかと考えまし  
た。ある程度地区の限定をするというのは、その地区の新たな思いをつくって  
いただく。そういう考えから地区の限定をさせていただきました。

委員 それを払拭しようという話を今までしているんでしょ。いろんなところから  
いろんな意見を聞いて、皆の印象で一番良いと思うものを選んだほうが良いのでは  
ないか。

委員 私は地区の意見が大事だと思います。地区のプライドというか、私は自分の地  
区を愛しているのです、その意見を採用して欲しいです。

議長 他にありますか。今、広く地区外まで求めるべきだということと、このままで  
良いという意見が出ておりますが、皆さんどうでしょうか。校名部会長さんはい  
かがでしょうか。

委員 私は校名部会の仲間と相談した限りでは、この案にあるような方で地区に愛着  
ある方に書いてもらいたいと思います。

委員 良いと思います。

議長 他に御意見ございますか。では、校名部会からの統合中学校名の募集要領につ  
いて、両検討委員会でこの原案で承認いただけますか。

委員 はい。

議長 では、異議なしの声が多いようですので、募集要領については承認いたします。  
他に専門部会より協議事項がございますか。ないようですので、第3号「学校再  
編検討委員会の今後の予定について」を議題とします。事務局より説明願いま  
す。

事務局 それでは議題第3号「学校再編検討委員会の今後の予定について」説明します。

まず、本日、平成24年11月26日丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第4回合同会議。内容としましては、地区説明会の検証をしていただきました。先ほど、この内容につきましては次回へ持ち越しということになりましたので、平成24年12月に再検討をし、御協議いただければと考えております。続きまして、承認いただきました校名募集の募集期限後になります、平成25年1月下旬から2月上旬にかけて、学校再編検討委員会の合同会議を行いたいと思っております。内容としましては、校名の決定及び意見具申の作成について協議検討していただければと考えております。この意見具申に関して、平成25年2月の意見具申概要の地区周知、この後に、教育長へ意見具申を提出していただき、定例教育委員会へ報告、平成25年3月に市議会へ報告し、翌年度、平成25年4月以降は統合へ向けた協議・検討をして、引き続き検討委員会及び専門部会で協議していただきたいと考えております。

議長 　ただ今、事務局から今後の予定について説明がありました。何か質疑等ございますか。事務局の説明どおりに進めてもよろしいでしょうか。

全委員 　はい。

議長 　ありがとうございました。では、第3号「学校再編検討委員会の今後の予定について」は承認されました。次に、第4号「次回合同会議の日程について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 　次回の合同会議ですが、最初は1月下旬から2月上旬と考えていたのですが、できましたら、幼稚園・小学校の再編の学校の位置については引き続き検討が必要だということの中で、年内に開きたいと思います。それでは、12月19日で時間は午後7時といたします。場所については、後日連絡いたします。

議長 　それでは、次回は12月19日の午後7時で場所はおって事務局より連絡いたしますので、お願いします。それでは、本日の議事が終了しましたので、傍聴人は退席をお願いいたします。

(傍聴人退席)

事務局 　それでは次回は12月19日(水)ということをお願いいたします。以上をもちまして、丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第4回合同会議を閉会いたします。ありがとうございました。

(閉会)